

令和6年度 さいたま市立新開小学校 第3回学校運営協議会 議事録

1 日時

令和7年2月18日(火) 9:30~12:30

2 場所

会議室

3 参加者

	氏名(ふりがな)	性別	役職等
1	小林 喜雄(こばやし よしお)	男	青少年育成新開地区会相談役
2	前田 三恵子(まえだ みえこ)	女	青少年育成新開地区会副会長
3	大貫 充(おおぬき みつる)	男	青少年育成新開地区会会長
4	林 大悟(はやし だいご)	男	青少年育成新開地区会副会長
5	田中 輝明(たなか てるあき)	男	ラミーユ浦和防犯ボランティア
6	屋代 光昭(やしろ みつあき)	男	新開自治新和会長
7	宮田 隆司(みやた りゅうじ)	男	桜田2丁目防犯ボランティア
8	小島 美穂子(こじま みほこ)	女	新開2丁目防犯ボランティア
9	海藤 貴子(かいどう たかこ)	女	新開小学校図書ボランティア会長
10	坂下 三浩(さかした みつひろ)	男	新開小学校PTA会長
11	武田 亜寿香(たけだ あすか)	女	新開小学校前PTA副会長
12	岡田 健彦(おかだ たけひこ)	男	校長
13	宇野 直記(うの なおき)	男	教頭
14	霜垣 良輔(しもがき りょうすけ)	男	教務主任
15	山野井 幸夫(やまのい さちお)	男	学校地域連携コーディネーター

※欠席者 前田 三恵子、林 大悟、山野井 幸夫

4 内容

1 校長あいさつ

2 議事

※議事進行【会長代理：教頭】

(1) 令和6年度学校関係者評価及び令和6年度学校評価結果について 10分【教務】

(2) 令和6年度学校自己評価システムシートについて 45分【校長】

(3) 令和7年度の学校運営に関する基本方針について 45分

①学校経営計画に関すること。【校長】

②教育課程の編成に関すること。(年間指導計画を用いて)【教務】

③予算の執行に関すること。【事務】

④施設及び設備の管理に関すること。【事務】

3 諸連絡 【地域コーディネーター】

来年度の第1回学校運営協議会について

【議事詳細】

議 事	発言者	発言内容、回答
1 あいさつ	校長	<p>日頃の感謝、まとめの時期</p> <p>第1回：熟議、学校との連携、等</p> <p>第2回：目指す学校の実現のために、子どもたちの意見を取り入れた。3点、①お別れ遠足をやりたい。⇒検討したが、時数の関係で今年度は見送ったが、検討は今後も継続。②文化祭をやりたい。⇒しびらきっ子まつりの子どもバージョンをやっていく。具体的は、土曜授業の授業の中で実施してはどうか。③外国の方との交流⇒来年度、実現に向けて検討中。絶えず、学校は子どもの思いの実現のために進めていく。</p> <p>本日は、学校自己評価システムシートの振り返り。また、次年度の学校経営方針の仮承認をいただきたい。正式な承認は次年度の第1回学校運営協議会となる。その他、特別支援学級の名称変更やいじめの状況等は現状をお伝えする。</p>
2 議事		
(1) 学校評価等	教務	<p>学校評価アンケート結果について</p> <p>・肯定的な回答が昨年度より増加し、教員の励みになっている。設問4、設問10はA評価があがって、大変励みになっている。在校時間の短縮については、昨年度より大幅に削減はしているが、月ごとをみるとバラツキがあり、課題がないわけではない。国や市が求めている方向に向けて引き続き善処していく。</p>
	田中	<p>設問6、7が数値が低い。おそらく、学校に対して、保護者からどういう声があがっているかが委員の私たちに伝わってくる術がないので、私たちとしてもよい評価がしにくい項目である。</p>
	坂下	<p>私も同じことを感じている。</p>
	教務	<p>様々な声がある。夏場、エアコンがない特別教室での授業実施など、施設面等への声があがっている。</p>
	田中	<p>わたしたちの肌感覚では、今の数値よりも実際はもっと高いのではないかとと思う。</p>
	教頭	<p>評価するには、委員のお立場では、情報が足りないとは思いますが、判断できる範囲で評価をお願いいたします。</p>
	田中	<p>スクリレはラミーユでは活用している。貴重で大変助かっている。</p>
	坂下	<p>質問9の肯定的回答の割合が上がってこないのは、どうすればいいのか。</p>
	教務	<p>おととしから追加された項目である。おととしはAが20%であった。毎年、少しずつあがってきているが、ご指摘の通り、他の項目と比べると低い。</p>
	坂下	<p>懸念は、PTA本部の役員の成り手がいない。委員会をなくしたことで、学校と完全に距離ができたのが反省である。次年度以降、PTAを維持するのが大変である。50周年を迎えるにあたり、運営どころか計画もままならない。学校・地域・保護者一体となって考えていっていただけるとありがたい。</p>
	小林	<p>PTAも大変な時期にきている。自治会がもっと協力しなければならぬ。9日</p>

		の日曜日、町谷に行ったが、町谷は子ども会がない。PTA だけに任せてはいけない時代にきている。
	海藤	図書ボランティアの声として、「PTA の委員会がなくなったので、他の保護者と知り合う機会がなくなったので図書ボランティアに入った。」「PTA の役割がなくなって、子どもの様子を見る機会が減ったので、図書ボランティアに入った。」2年前、桜田の子ども会に入っていた。いろいろ行事を企画するが、参加率がよくなく、保護者間や保護者と地域間の交流が少なくなった。学校と家庭と地域で子供を育てる観点から言うと、それぞれが一つになっていかないと、まずいのではないか。
	小島	子ども会と学校の関係は大事である。
	海藤	桜田に住む児童は、100名は超えている。学校と子ども会のつながりは、例えば、通学班の編成（新1年せい）の時だけで、今は子ども会と学校との関係も希薄である。クリスマス会は、子ども会単独で行っている行事である。
	屋代	PTA の帰属意識の低下は全国的なもの。共働きが増えて、うちの自治会でも夏祭りの手伝いができないという保護者がいた。いろいろ自前でやっていたが、保護者の協力が得られなくなったから、アウトソーシングしてでも、運営をまかなった。共働き世帯の負担はよくわかるが、自分の子どもを丸投げではなく、親としての意識改革をするしかけを、地域に住むわたしたちからもしないといけないと思っている。自治会の祭りの手伝いを断る親の言い分としては、「PTA も委員会をなくしたから、自治会、子ども会もそういうものをなくしてください。」となっている。子どもを多くの立場で育てていく観点からすると、負の連鎖のように感じる。共働きが当たり前の世の中で、厳しい状況だが、知恵を絞って協力していかなければならない。
	坂下	保護者は、学校と地域をリスペクトすべき。子どもを預けている恩義を感じて、行動にすべきではないかと思う。 さいたま市 PTA の不祥事が余計に PTA への協力意識をそぐことにつながっているように感じる。肌感覚として、協力体制がなかなかしきにくい。屋代委員のおっしゃるとおり、連携が不可欠である。 委員会廃止を早まった感もあるが、一方では、やる気がある方がいらっしゃるといふ利点も見えた。
	教務	新1年生の保護者の中でも、PTA 加入をためられる方もいらっしゃるが、全員ご理解をいただき、加入をしていただいている。
	坂下	加入は全世帯なので、協力体制を求める発信はしやすい。
	屋代	保護者には当事者意識をもってほしい。朝、下校時の防犯ボランティアの見守り活動は好きでやっているくらいに思っている保護者もいると聞くので。
	武田	「やりたいことをやりたいときに」をスローガンでやったが、二極化してしまっている状況。委員会廃止後の負の連鎖はある。せめて、一人1回は参加をする下校時の見守り活動を実施している。
	海藤	PTA の委員会がなくなった分、何らかの形で協力はしてほしいと感じている。
	小林	「やりたい人がやりたいときに」もいいが、そのスタンスだと次の世代が続かない懸念がある。人と人のふれあいがないと、地域が活性化しない。学校は仕事が増えてきている。それに対応しながら、在校時間を減らすのは厳しいの

		ではないか。その中で、子どもの教育をどう担っていくのか、これからの大きな課題である。
	教務	在校時間について、ご心配をいただき、ありがとうございます。新開小の子どものために、スクラップ&ビルドを常に行っている。
(2) システムシート		
1 個別・協働	校長	<p>個別最適な学び</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個の習熟に応じた支援は、85%で目標を達成した。 ・国語については、どの学年も8割から9割。算数は、低学年は8割以上だが、中学年は7～8割と低下している。高学年は、また8割に改善している。中央値と平均値がずれており。山がふたつあり、学力格差がある。 ・主体的な学び等は、成果指標として、大学教授の中口先生の指導・助言のもと作成中である。 <p>協働的な学び</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラム・マネジメントは中口先生の指導のもと作成した。 ・多様な学習集団の編成は、83%で達成した。 <p>課題や改善策：●</p> <ul style="list-style-type: none"> ●教科担任制を中学年にも展開し、専門性を生かした授業の質の向上を図る。 ●15分モジュールを取り入れ、基本的な内容の習熟を図る。 ●評価指標を策定し、児童の学習到達度等を図っていききたい。
	屋代	算数について。ヒストグラムの山が二つあることについて、もう少し分析を聞きたい。
	校長	正直のところ、「わからない」が結論。学年ごとに学力が違う。目標値に達成できていない2割の児童分布次第。個別最適な学びを保証して、個に応じて改善を図っていく必要がある。考えられる可能性としては3,4年生に勉強が苦手なお子さんが多いことで、山が二つできたのかもしれない。
	武田	そういった児童には、支援は入るのか
	校長	例えば、SAがいて、それを充てるのも可能性があるが、現在、校内で欠員が生じており、その学級にSAを充てているので、そういった児童への学習支援をするための人員配置ができない。
	坂下	その先生は、重篤なのか？ 新しい方は入るのか？
	校長	復帰までに、まだ時間がかかる見込み。新年度、人員をつけてもらえるよう、要望中である。
	屋代	教科担任制の効果は？
	校長	教員は、教材研究をする。その科目数が少ないほど、より深く教材研究ができる。また、同じ授業をするので、授業の質が上がる。教科の専門性が高まるのがねらいなので、児童の学力向上に寄与すると思っている。
	坂下	今の3年生は単学級ですが、教科担任制についてはどうなるのか。
	校長	原則、担任が授業をするが、専科の教員も入る。
	坂下	保護者目線で考えても、確かに学力向上につながるのではないかと感じる。私たちの時代では、中学で教科担任制はあったが、小学校でも進められるのはいい。

	校長	文科省によると、教科担任の方が学力向上することがわかっているという報告もある。
	坂下	その場合の評価は誰がするのか？
	校長	各教科担当が評価を行う。
2 安心安全	校長	<p>児童一人一人への支援等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクールダッシュボードの活用を進める。 ・児童相談所や特別支援ネットワーク連携協議会等、関係機関との連携を図った。 ・就学相談はさらに充実させる。 ・あすなろメーターの活用を進める。 ・非行問題対応、いじめ対応を組織的に行う。 ・特別支援についても、切れ目のないようにしていく。 <p>児童が主体となって取り組む行事等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童会活動の充実 ・日本赤十字社への加盟
	海藤	授業への相談はよくわかった。授業以外の相談は、対面だけですか？
	校長	<p>学期に一回、心と生活のアンケートを実施。</p> <p>必要な子への面談を確実に実施、家庭と連携を図りながらすすめている。</p> <p>教育相談日を設けて、担任や担任以外、例えば、SCのように子育ての悩みをすすめる。また、各教室に置いてある「あのねカード」は、保健室のポストに入れることになっており、毎日、教育相談主任が確認し、相談相手の教職員に直接、届くシステムとなっている。</p> <p>以上のように、いろいろな形で教育相談を行っている。</p> <p>また、校長講話では、時期をみて、悩まずに相談するように促している。</p>
	小林	相談にくるのはいいことであると感じるが、不登校の児童の対応はどうなっているのか？
	校長	<p>いわゆる不登校の児童は4名。それぞれ担任や養護教諭など、家庭と繋がっている。その他、例えば、グロウスなどの機関を活用している児童は2名いる。</p> <p>保健室登校が2名。不登校の要因については児童によって様々である。医療、心理等の専門家とも連携をはかっている。改善のための対策も行っているが、それ以上に学校や関係機関とつながり続けていくことが大事であると感じている。</p>
	屋代	いじめが原因で不登校はいないのか。
	校長	<p>0ではない。登校しぶりになっている児童がいる。あくまで、渋っているだけで、不登校の扱いにはなっていない。1日、2日休むこともある。個別サポート指導員を入れるなど、学校も適切に対応している。</p>
	屋代	いじめが原因で非行にはしることもあるが、それはしないのか。
	校長	<p>それはしない。また、昔の感覚でいうところの「悪質ないじめ」はない。今のいじめの定義は、受け手の児童が苦痛を感じたらすぐにいじめになる。トラブルになると、学校は、いじめの疑いの段階で、積極的にいじめ認知を進めるようにしている。</p> <p>昔は、トラブルは子ども同士で解決をしていたが、今はすぐに保護者がかかわ</p>

		<p>ってくる。それにより、子ども自身の力で解決する機会が奪われている。これは、いじめに限らない。小さなトラブルも同様である。</p> <p>例えば、オーディションで、トラブルになるケースある。保護者の考え方の多様化が一因であると考え。不登校も、同じように保護者の考え方の多様化が起因することもある。場合によっては、「学校に行かなくていい。」と心理の先生などに助言をされると、学校を休ませるケースがある。保護者と子どもの中で、登校復帰できる手立てがあればいい。学校が具体的ないじめ防止策をとるなど、を求められる。</p> <p>対応に苦慮するケースは、年々増加している印象がある。</p>
	小林	<p>大変な時代。前校長に電話をしたら、保護者対応で、なかなか繋がらないことがあった。</p>
	海藤	<p>先生になりたいと思う人が増えない原因ではないのか。</p>
	校長	<p>教育は楽しい。授業準備など、子どものためにとえば、時間を忘れて仕事に没頭できるものである。しかしながら、解決困難な保護者対応が入って、強烈なクレーム、圧力があると、先生たちは自分を責め、疲弊していくことがある。民間では、カスタマーハラスメントという言葉があるが、学校も似たような状況である。</p>
	宮田	<p>保護者からくるクレームに対して、学校運営協議会委員が入って解決するのはどうか？</p>
	校長	<p>それを保護者が望むかどうかにかかっている。</p>
	宮田	<p>そういうのを、先に示しておくという案はどうか。</p> <p>何が言いたいかという、子どもを育てるのは、学校だけではない。</p> <p>我々、地域の人間は、先生だけが矢面に立つのを見ていられないという思いである。</p>
	校長	<p>気持ちは大変ありがたい。校長として、お気持ちだけ頂戴したい。このようなケースは、当事者ではない人が間に入ると、保護者が難を示すこともある。大変、難しい。</p>
3 家庭、地域との連携	校長	<ul style="list-style-type: none"> ・ユネスコスクールとしての取組 ・スクリレによるお手紙等の発信 ・しびらき苑やスマート農業の方々との連携。
	海藤	<p>障害者支援施設しびらきの利用者さんと新開小の児童との交流ができれば、とても素敵なことであると感じる。具体的には、しびらきベーカリーと一緒にクッキーを作るなど。地元をもっと知るとい意味でもよいと思います。</p>
4 ICT		
学校経営方針	校長	<p>めざす学校像について、ぬくもりをより具体的に4点掲げた。</p> <p>特色ある教育に青少年赤十字をいれた。</p> <p>基礎学力の向上</p> <p>生徒指導</p> <p>環境整備</p> <p>業務改善 それぞれを具体的に。</p> <p>これは、新年度当初、教職員に話をして、当事者として実現が図っていきけるように、投げかけていきたい。</p>

		基本は、今年度を踏襲していくが、現時点で分かりづらいと思われる点について、より具体的に書いて、経営方針としてお示ししております。
	小島	挨拶できる子が増えてきた印象。挨拶がかえってくるとうれしい。
いじめ対応	校長	どういった状況がいじめなのか。具体例をあげた。 児童はその場で仲直りをする。保護者が入ってくると解決困難になる。
	宮田	保護者が入るのはおかしいと感じる。だからこそ、我々委員の役割をとらせたのだが、改めてどうでしょうか。
	校長	お気持ちはうれしい。しかし、当の保護者は悩んでいることも事実であるという認識です。我々は、教育公務員として、その問題を解消を目標とするのではなく、収束させることも一つの支援策として捉えてもよいのではと感じている。
1 学力		
(3) ②年間 行事予定	教務	変更点 ・下校時刻が全学年変わる。モジュールを活用することにより、授業時数を減らすことなく、授業のコマを1時間減らし、下校時刻を早められる日もある。 1・2学期は1時間減らし、3学期は従来の時数で進める見通しである。
	坂下	本校だけの変更なのか？
	教務	カリキュラムオーバーロードの影響で、各校が進め始めている。学校によって変更内容は、まちまちである。
	小林	年間授業日数の205日はそのままなのか？
	教務	202日に減ります。給食の回数は決まっているので大きな変更はない。
	小林	授業は、40分授業に変わるのか？
	教務	45分は変わらず進めます。
	教頭	202日の肌感覚は、土曜授業があれば、必ず振替休業日があるということ。
	坂下	これは、チャレンジとしての取組なのか？それとも、今後、そのような形で進んでいくのか？
	教務	市の指針なので、定着をねらっている。学校によって、行事等が違うので、本校はこのような提案をさせていただいている。
	坂下	50周年としびらきっ子まつりを合体させていきたい。実行委員会も立ち上げたい、時期も想定したい。年間授業日数や授業時数など、令和8年度も同じようなイメージをもってよいのか。
	教務	令和7年度と令和8年度は大きく変える予定はない。特に、運動会、しびらきっ子まつりあたりは据え置きたい。暑さ対策、学力向上等を考えて、それぞれの行事の時期を考えている。
	坂下	地域はもちろん、子どもが地域愛をもって、特に6年生は50周年に臨んで卒業を迎えてほしい。
③予算の執行	新井	1頁：電気、水道はこちらに入っていない。 2頁：修繕料の執行状況。年間65万。30万以下は学校で行う。30万超えると教育委員会で行う。特別修繕あり。各教室、職員室のエアコンが老朽化している。その他、樹木伐採、校庭改修。 3頁：手数料の執行状況。ミシンの点検、ピアノの調律等 4頁：営繕工事要望書。リフレッシュ工事は令和17年度。東側トイレ改修工

		<p>事は確定している。</p> <p>5頁：マイスクールファンド。始まって2年。ふるさと納税の教育版。</p> <p>6頁：ファンドの概要。昨年、今年と数万円程度、いただいている。機会があれば、知り合いに広めてほしい。</p>
	小林	体育館のエアコン設置は？ 夏場の選挙など大変。
	新井	小学校は、これから計画が立てられており、まだ時期はわからない。
	海藤	営繕工事の東トイレはいつ？ 教頭：令和7年度中に工事予定。
	坂下	災害用の非常用の水は、プールで使えないのはなぜ？
	小林	避難所運営訓練でも使用することはない。非常用水のまわりの雑草が目立つ。
	新井	非常用水の点検は毎月来ている。目的が違うので、プール等には使えない。
	校長	今年度、新しい草刈り機を買って、使用を始めたので、雑草も対応していく。
	大貫	1頁：残額は？ 残るとどうなる？
	新井	これから執行予定。残ったら、市に戻す形になる。
	大貫	ファンドは、指定がないものについて、全体で集まったのを割るのか？
	新井	そのとおりである。
	小林	防災倉庫の高さが低いので、水害時に浸水する恐れがある。
特別支援学級の名称変更	坂下	にじいろに決定 児童保護者1位なので。